

事務事業評価調書

事務事業名	契約事業				
担当部名	総務部	室課名	契約検査室	室課長名	大矢根 正明

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方自治法、地方自治法施行令、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、吹田市財務規則等													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	工事、コンサル、物品購入等の契約												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	入札及び契約の公平性、競争性、透明性の確保と契約事務の適正化を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	吹田市の財産価値の向上、サービスの質の向上、良好な財政運営に貢献する。													
(7)	事業概要	工事、コンサル、物品購入等に係る入札等の執行及び契約の締結を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	12	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		558	577	651	553	585							
		人件費	職員数	人	8.00	8.00	7.80	7.80	7.80						
			総額(B)	千円	66,400	63,576	65,146	65,146	63,726						
		総事業費(A+B)		66,958	64,153	65,797	65,699	64,311							
		特定財源(C)		1	1	1	1	1							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		1	1	1	1	1						
		市負担(D)		66,957	64,152	65,796	65,698	64,310							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			66,957	64,152	65,796	65,698	64,310								
財源計(C+D)		66,958	64,153	65,797	65,699	64,311									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	契約件数	目標値	(単位:件)	20,092.00	19,253.00	19,253.00
			実績値	(単位:件)	20,092.00	19,253.00	/	
		達成度(%)		100.0	100.0			
	目標値の積算方法	工事、コンサル、物品購入等の契約件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.19	3.41		
				一般財源(単位:千円)	3.19	3.41		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	②	成果内容	工事、コンサル、物品購入等の入札・契約手続の公平性、競争性、透明性を確保する。				達成状況	公平性、競争性、透明性が確保されている。また、契約関係のガイドライン等の順守により契約事務の適正化が図られている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		入札及び契約の公平性、競争性、透明性を確保するため、契約事務の適正な執行に努めている。また、公正な競争及び契約の適正な履行を確保しつつ、市内中小企業者の受注機会の増大に努めている。これらのことについては今後も引き続き取り組んでいく。					

事務事業分析シート

所属名	契約検査室	事業名	契約事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00059				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	契約検査室	事務事業番号	00059
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each category:</p> <ul style="list-style-type: none"> 妥当性: 20 有効性: 15 効率性: 10 公平性: 5 持続可能性: 5 		
(3)現状分析	<p>公共工事や物品購入の発注、契約事業においては、市内事業者育成の基本方針のもと、可能な限り分離・分割発注に努め、市内中小企業者の受注機会の増大に努めるとともに、平成24年度に随意契約ガイドラインを策定し、ガイドラインに沿った適正な契約業務を行うことで、市民から信頼される公正で公平な入札・契約に努めており、施策としての一定の効果をあげていると考えている。</p> <p>平成27年度においては、随意契約ガイドラインを改正し、随意契約においても予定価格を設定するよう全庁的に取り組むとともに、更なる市内事業者の受注機会増大に向け、吹田市契約の相手方の資格及び選定方法に関する規程を改正し、入札等において市内事業者を優先するよう定め、庁内にその内容の周知を図るなど、契約に関する課題の解決に向け、引き続き取組を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	業者登録事業				
担当部名	総務部	室課名	契約検査室	室課長名	大矢根 正明

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	地方自治法、地方自治法施行令、吹田市財務規則、吹田市契約の相手方の資格及び選定方法に関する規程													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	工事、コンサル、物品等各種登録希望事業者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	入札等に参加する事業者の資格を審査し、登録を適切に行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	工事、コンサル、物品等各種契約に係る競争入札等を適切に執行することができる。												
(7)	事業概要	事業者からの入札参加資格認定申請を受け付け、資格審査を行った上で入札参加資格の認定を行い、入札参加有資格者名簿を作成する。また、入札参加資格申請事項の変更届を受け付け、それに基づき名簿の修正を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	12	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,333	1,593	2,341	1,601	1,976							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		10,633	9,540	10,693	9,953	10,146							
		特定財源(C)		4	4	4	3	5							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		4	4	4	3	5						
		市負担(D)		10,629	9,536	10,689	9,950	10,141							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			10,629	9,536	10,689	9,950	10,141								
財源計(C+D)		10,633	9,540	10,693	9,953	10,146									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ワックシステム										
				②											
				③											
		主な委託内容		有資格者名簿データ入力業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 業者登録件数	目標値	(単位:件)	4,718.00	4,442.00	4,683.00	
			実績値	(単位:件)	4,718.00	4,442.00		
			達成度(%)		100.0	100.0		
	目標値の積算方法	工事、コンサル、物品等各種の登録業者件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		2.02	2.24	
				一般財源(単位:千円)		2.02	2.24	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
				目標				
		事業者が提出した申請書及び添付資料により入札参加の資格審査を適切に行うことで、不良不適格事業者を排除し、適正な契約事務の執行に資する。		達成状況	入札参加の資格審査は適切に行われており、契約事務の適正化につながっている。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		業者登録事業は、市が契約事務を行うにあたり、その前提となる業務であり、市が責任を持って必ず実施しなければならない業務である。また、数多くの申請を限られた期間までに処理しなければならない中で、正確性、迅速性が求められる業務であり、人員の集中配置や支援体制の強化を図っていかねばならないと考えている。					

事務事業分析シート

所属名	契約検査室	事業名	業者登録事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00060				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	契約検査室	事務事業番号	00060
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays the following scores for each category: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (10). The scale ranges from 0 to 20 in increments of 5.</p>		
(3)現状分析	<p>業者登録事業は、市が契約事務を行うにあたり、その前提となる業務であり、市が責任を持って必ず実施しなければならない業務である。 また、数多くの申請を限られた期間までに処理しなければならない中で、正確性、迅速性が求められる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度までは年度途中での入札参加資格の認定は行っていなかったが、平成28年度からは、地元企業のビジネスチャンスを拡大するため、市内本店及び市内支店で登録する事業者について、年度途中においても入札参加資格の認定を行うこととした。

事務事業評価調書

事務事業名	電子入札システム事業				
担当部名	総務部	室課名	契約検査室	室課長名	大矢根 正明

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成15年度	改正 内容	工事関連業務委託における実施基準の変更(平成28年度より、300万円以上を100万円以上に変更)											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、吹田市工事請負契約等に係る発注要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	2	市民自治が育む自立のまちづくり	節	2	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公共工事及び工事関連業務委託の入札業務												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	一連の入札手続の電子化及び入札情報等のインターネットによる公表												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	入札における競争性・透明性・公正性の向上、参加業者のコスト縮減、入札事務の省力化・効率化													
(7)	事業概要	大阪電子自治体推進協議会の共同利用電子入札システム整備事業に本市を含む府下7市(吹田・豊中・高槻・枚方・八尾・寝屋川・羽曳野の各市)が事業参加し、府内自治体の共同利用を前提とした電子入札システムを共同開発、導入した。平成18年度から河内長野・東大阪、平成20年度から茨木、平成21年度から柏原、平成22年度から富田林・門真、平成27年度から大東・守口の各市が参加し、現在15市で運用中。システム利用については平成17年度から開始。平成26年度からは、大阪地域市町村共同利用電子入札システム運営協議会にて運用。平成20年度からは、予定価格2千万円以上の工事及び300万円以上の工事関連業務委託の案件について電子入札システムを利用していたが、工事については平成27年度から予定価格1千万円以上の案件に引き下げ、工事関連業務委託については平成28年度から予定価格100万円以上の案件に引き下げた。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	12	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,261	5,262	5,267	4,916	4,730							
		人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,300	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		13,561	13,209	13,619	13,268	12,900							
		特定財源(C)		793	794	866	846	883							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	793	794	866	846	883							
		市負担(D)		12,768	12,415	12,753	12,422	12,017							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	12,768		12,415	12,753	12,422	12,017									
財源計(C+D)		13,561	13,209	13,619	13,268	12,900									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 電子入札件数(工事及び工事関連業務委託)	目標値	(単位:件)	270.00	282.00	324.00
			実績値	(単位:件)	113.00	181.00	
		達成度(%)		41.9	64.2		
	目標値の積算方法 発注要領の基準に基づく件数(工事は予定価格250万円以上、工事関連業務委託は予定価格100万円以上の入札案件)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	116.89	73.30		
			一般財源(単位:千円)	109.87	68.63		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)		0.0	0.0			
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容		目標				
	②	成果内容	電子入札システムの導入により、入札における競争性・透明性・公平性の向上、参加事業者のコスト縮減、入札事務の省力化・効率化を図る。	達成状況	入札の競争性・透明性・公平性の向上、参加事業者のコスト縮減は図られているが、事務の効率化についてさらに工夫が必要である。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	電子入札システムは、現在、府内15市で共同運営を行っており、本市においては一般競争入札のみで実施している。また、一般競争入札は、指名競争入札と比較すると公告から業者の決定までに時間を要するが、手続を見直す等によりその差は小さくなっている。今後、この事業の有効性を高めるため、その対象額の引き下げ(平成28年度から、工事関連業務委託については予定価格300万円から100万円に引き下げ済み。)や指名競争入札への利用拡大など対象範囲を広げることについて、検討していかなければならない。					

事務事業分析シート

所属名	契約検査室	事業名	電子入札システム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00061				

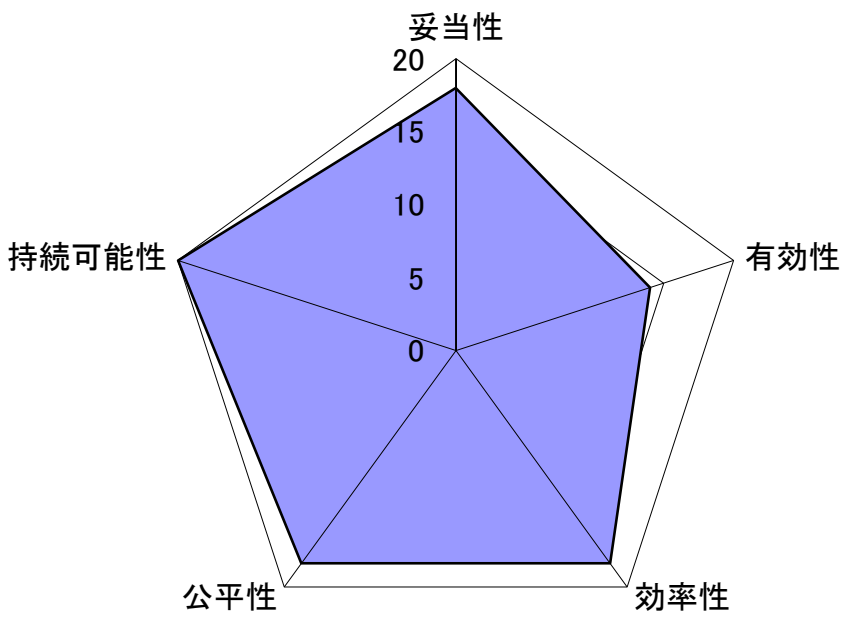
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	契約検査室	事務事業番号	00061
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>電子入札については、市が関与すべき事業であり、その妥当性は非常に高い。また府内15市でシステムの共同開発、運営を行っている面から、コスト面で効率性が図られている。 現在工事については経過措置としてその対象額を予定価格1,000万円以上とし、コンサルについては対象額を100万円以上としている。今後も、この事業の有効性を高めるため、その対象額及び現在一般競争入札についてのみ利用を指名競争入札にも利用するなど対象範囲の拡大について、検討していかなければならない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府については、案件規模の大きなものから順次電子入札を導入し、平成20年度からはほぼ電子入札の案件に移行済みである。

事務事業評価調書

事務事業名	工事検査事業				
担当部名	総務部	室課名	契約検査室	室課長名	大矢根 正明

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和48年度	改正内容	組織改正に伴う規定整備等											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律、吹田市工事検査規程													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	契約金額が2,000万円以上の工事請負契約及び契約金額が1,000万円以上で総務部長が別に定める工事請負契約に係る検査業務											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	本市が発注する工事及び製造について、請負契約の目的たる給付の完了を確認する。 工事目的物の品質、効率性、安全性、環境への配慮等の実施段階における工事の質の向上及び受注者の適正な選定及び指導育成が図られる。												
(7) 事業概要	契約金額が2,000万円以上の工事請負契約及び契約金額が1,000万円以上で総務部長が別に定める工事請負契約に係る工事目的物を対象とし、下記の必要な検査を行う。 (1)完成検査 (2)出来形検査 (3)中間検査 (4)随時検査													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	12	中事業	4	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		86	53	83	78	82							
	人件費	職員数	人	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00						
		総額(B)	千円	24,900	31,788	33,408	33,408	32,680						
	総事業費(A+B)		24,986	31,841	33,491	33,486	32,762							
	特定財源(C)		0	40	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	40	0	0	0							
	市負担(D)		24,986	31,801	33,491	33,486	32,762							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		24,986	31,801	33,491	33,486	32,762								
財源計(C+D)		24,986	31,841	33,491	33,486	32,762								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 検査件数	目標値	(単位:件)	103.00	102.00	100.00
			実績値	(単位:件)	103.00	102.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 完成検査、出来形検査、中間検査の実施件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		309.14	328.29	
			一般財源(単位:千円)		309.14	328.29	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0		
①	活動内容				目標		
	②	成果内容	工事検査の実施により、適正な履行を確保する。			達成状況	適正な履行が確保され、工事の質の向上につながっている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		工事検査によって適正な履行が確保され、工事の質の向上につながっている。また、現在は成績評定を入札・契約制度に一部活用しているが、今後は成績評定を行う対象工事の拡大について検討の必要があると考えている。				

事務事業分析シート

所属名	契約検査室	事業名	工事検査事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00062				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	契約検査室	事務事業番号	00062
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に基づき、吹田市では平成19年1月1日から吹田市工事成績評定要領を定めて実施している。 工事成績評定結果については、平成22年度からは工事成績評定点を受注者に通知している。また、平成26年度からは工事成績評定を入札制度に一部活用している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	入札等監視委員会運営事業				
担当部名	総務部	室課名	契約検査室	室課長名	大矢根 正明

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市入札等監視委員会規則、吹田市入札等監視委員会の運営に関する要領等													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	8	基本計画推進のために	節	4	細節	0							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	本市が発注した工事、工事に係るコンサル業務、物品購入、修繕、業務委託又は賃貸借の契約であって予定価格が250万円以上の案件等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性の確保を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	入札及び契約の過程並びに契約内容の透明性の確保、公正・公平な入札契約制度の構築。												
(7)	事業概要	学識経験者により構成する入札等監視委員会において、競争参加資格の設定や指名競争入札に係る指名の経緯等について、市長の諮問に応じ、中立・公正な立場から審議し、意見の具申を受ける。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	2	項	1	目	1	大事業	12	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	100	92	112							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	0	0	1,671	1,608	1,634						
		総事業費(A+B)		0	0	1,771	1,700	1,746							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	100	92	1,746							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		0	0	100	92	1,746						
財源計(C+D)		0	0	100	92	1,746									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 審議対象件数	目標値	(単位:件)	0.00	854.00	854.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	854.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法	平成27年4月～9月に締結した工事、コンサル業務、物品購入、修繕、業務委託、賃貸借の予定価格が250万円以上の契約件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.11	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.11	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
				目標				
		審議対象となった契約から委員に案件を抽出してもらい、審議、答申を受けた。		達成状況	答申の内容を契約制度に反映させ、一定の改善を図ることができた。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成27年度において入札等監視委員会を3回開催し、中立・公正な立場から審査及び意見の具申を受けた。答申の内容から、業務委託等の一般競争入札情報のホームページでの公表や、電子入札における最低制限価格の算出方法の変更などを行うことにより、契約制度について一定の改善を図ることができた。今後も入札等監視委員会からの答申内容を取り入れ、より公正・公平な入札契約制度を構築していく。					

事務事業分析シート

所属名	契約検査室	事業名	入札等監視委員会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01397				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	契約検査室	事務事業番号	01397
-----	-------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成27年度に開始した事業であるが、入札等監視委員会の中立・公正な立場から審査及び意見の具申を受け、契約制度について一定の改善を図ることができた。引き続き入札等監視委員会を定期的開催し、答申を受けた内容を取り入れることで、より透明性の高い、公正で、公平な契約制度の確立が図られると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)